編　修　趣　意　書

（教育基本法との対照表）

※受理番号	学　校	教　科	種　目	学　年
105 － 52	中学校	保健体育	保健体育	第１学年～第３学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※　教　科　書　名		
224 学研	保体 224 - 72	新・中学保健体育		

① 編修の基本方針

生きる力、自ら学び、自ら考える力を育てる

これからの時代

ウェルビーイングの重視 ・・・「生きる力、自ら学び、自ら考える力」さらに必要に

一人一人が自分自身の価値観や生き方を考えながら進んでいきつつ、協調的な幸福をバランスよく実現していくことが求められます。

▶ p.12

保健体育では……

生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するために、運動・スポーツや健康・安全についての**科学的認識と課題解決能力を身に付け、実生活の中で応用し、主体的に行動できるようになること**が求められます。

体育分野に求められること

運動・スポーツの意義や効果、原則などを理解するとともに、**生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を身に付けること**

保健分野に求められること

健康・安全についての生活や行動の仕方を科学的に理解するとともに、**生活において健康・安全の課題に直面した場合に、科学的思考と正しい判断の下に意思決定や行動選択をし、他者に伝えるための基礎となる資質や能力を身に付けること**

3つの編集方針

1 運動・スポーツや健康への関心を高め、生徒が主体的に学んでいくことができる

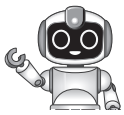
保健体育への興味・関心が高まり、保健体育を学びたくなる工夫をするとともに、生徒が主体的に学んでいくことができる紙面構成にしました。

2 自ら課題を発見し、解決する実践力を育成する

自ら課題を発見し、その解決に向けて思考・判断するとともに、それらを表現することができる流れにしました。また、実践的な課題を豊富に取り上げました。

3 協働的な学びが進み、学びに向かう力を養う

よりよい学びを生み出すために、多様な他者との協働的な学びを充実させるとともに、学びに向かう力を養うことができる工夫をしました。



生徒一人一人の、ウェルビーイングに向かう力を育てます。

▲共に学習を進めるキャラクター「ウィズ」

1 運動・スポーツや健康への関心を高め、生徒が主体的に学んでいくことができる

保健体育への興味・関心が高まります

口絵には、保健体育の魅力を示し、生徒の保健体育への興味・関心を高めています。

▼口絵 見返し～ p.1

スポーツにどんな魅力や価値を感じるか問いかけ、新しい学びのスタートとなるように工夫しています。

保健体育を学びたくなります

冒頭に「保健体育を学ぶ皆さんへ」として、なぜ保健体育を学ぶのか、学ぶとどんなよいことがあるのか、メッセージを掲載しています。

保健体育を学ぶ皆さんへ

中学校で保健体育を学習することは、どんなことにつながるでしょうか。

心も体も成長する時期にあり、また、関わる社会や人が広がっていく時期にある皆さんだからこそ、実感を持って学べることや、将来への希望を持ちながら学べることが多くあります。

体育では、スポーツの必要性や意義と多様な楽しみ方、学び方、スポーツへの多様な関わり方などを学習します。仲間とともに学び合い、支え合って

また、各章とびらでは、資料や情報を豊富に掲載し、学ぶ意欲を高めるほか、これから学びたいことや学んだことを表現する欄を設け、学びを自分ごとにする工夫をしています。

▼ p.42~43

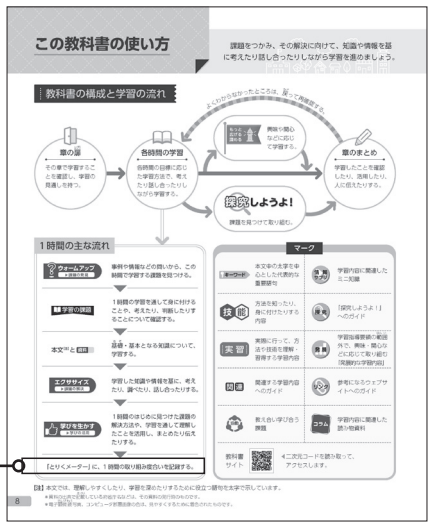
保健体育と情報

文字や絵、写真などを活用して、この章で学びたいことを表現します。

保健体育の学びを主体的に進められます

この教科書の使い方を示し、自らどのように学習を進めていくか確かめることができます。これにより、主体的に学習に取り組む姿勢が身に付きます。

▶ p.8

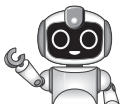


とりくメーター

項目の最後に「とりくメーター」を新設しました。「この１時間、主体的に学習に取り組めたかどうか」を自己評価し、記録できるようにしています。メタ認知に関わる力を育むことができます。

2 自ら課題を発見し、解決する実践力を育成する

課題発見力が身に付きます



学習のはじめにウォームアップに取り組むことで、「何が課題か？」をより考えるようになります。

「ウォームアップ」と題して、時間の最初に学習の課題に関連した身近な話題を取り上げています。これにより、この時間の学習の課題に気づくことができ、「課題発見力」が身に付きます。

▲ p.116~117

課題解決力が養われます

「エクササイズ」では、学習の課題に関連した課題に取り組みます。「思考力・判断力・表現力」など、求められている資質・能力が身に付き、課題解決力が養われます。

知識・技能を活用する実践的な力が育ちます

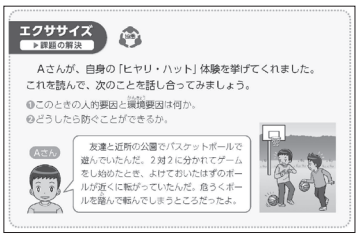
「学びを生かす」では、実践的な課題に取り組みます。日常生活の課題に対応する実践力が身に付きます。

3 協働的な学びが進み、学びに向かう力を養う

協働的な学びが進みます

協働的な活動を通して、学びに向かう力、人間性等の資質・能力の基礎を養います。

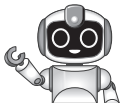
▼ p.109

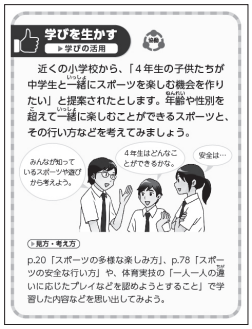


協働

協働マーク

教え合う課題、学び合う課題に示しています。



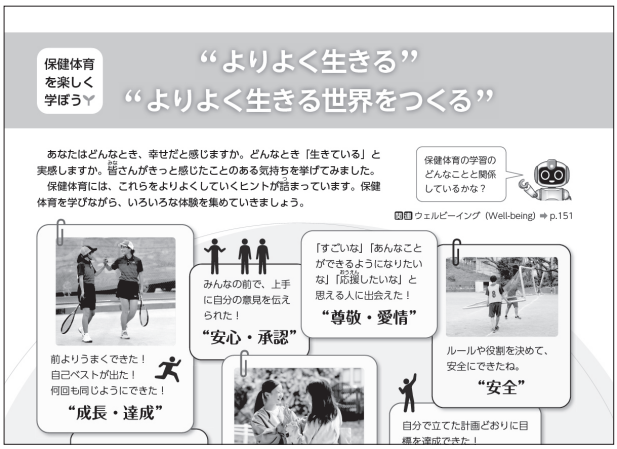


▶ p.143

保健体育の学びがウェルビーイングの向上につながることに気づきます

教科書を通して、個人や全体のウェルビーイングについての理解が進むようにしています。

▼ p.12



「“よりよく生きる”“よりよく生きる世界をつくる”」では、保健体育で学ぶことを踏まえながら、幸せだと感じた体験を集めていくことを提案しています。

② 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
教科書全体	●編集の基本方針を基に、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことができるようにしています。（第１号）	教科書全体
口絵	●スポーツの魅力を知ることを通して、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことができるようにしています。（第１号） ●運動、食事、休養・睡眠に関わるデータを取り上げ、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培い、健やかな身体を養うことができるようにするとともに、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるようにしています。（第１号、第２号） ●健康、環境、安全・防災、運動・スポーツについて、日常生活の中で関わり合って生きる例を取り上げ、個人の能力の発揮や、生活と職業との関係を身近にするとともに、勤労を重んずる態度を養うことができるようにしています。また、自他の敬愛と協力を重んずる態度や生命尊重、環境の保全の大切さにも気づくようにするとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるようにしています。（第２号、第３号、第４号、第５号） ●日本各地のスポーツ、健康、環境、安全・防災に関する施設や史跡を取り上げ、幅広い知識と教養を身に付ける態度を養うことができるようにしています。（第１号）	見返し～ p.1 p.2~3 p.4~5 p.6~7
体育編１章 スポーツの多様性	●学習内容に関連した情報を紹介し、幅広い知識や教養を身に付ける態度を養うことができるようにしています。（第１号） ●スポーツの多様性について学ぶことを通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自立の精神を養うことができるようにしています。また、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずることができるようにしています。（第２号、第３号）	p.14~15 p.16~25
保健編１章 健康な生活と 病気の予防①	●学習内容に関連した情報を紹介し、幅広い知識や教養を身に付ける態度を養うことができるようにしています。（第１号） ●健康とは何か、生活習慣と健康との関係について学ぶことを通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるようにしています。（第２号）	p.26~27 p.28~41
保健編２章 心身の発達と 心の健康	●学習内容に関連した情報を紹介し、幅広い知識や教養を身に付ける態度を養うことができるようにしています。（第１号） ●心身の発達と心の健康について学ぶことを通して、かけがえのない自分に気づけるようにするとともに、生命を尊び、他者を尊重する態度を養うことができるようにしています。（第３号、第４号）	p.42~43 p.44~69
体育編２章 スポーツの意義や効果と 学び方や安全な行い方	●学習内容に関連した情報を紹介し、幅広い知識や教養を身に付ける態度を養うことができるようにしています。（第１号） ●スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について学ぶことを通して、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことができるようにしています。（第１号）	p.72~73 p.74~83
保健編３章 健康な生活と 病気の予防②	●学習内容に関連した情報を紹介し、幅広い知識や教養を身に付ける態度を養うことができるようにしています。（第１号） ●生活習慣病の予防、喫煙・飲酒・薬物乱用と健康について学ぶことを通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるようにするとともに、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずることができるようにしています。（第２号、第３号）	p.84~85 p.86~105
保健編４章 傷害の防止	●学習内容に関連した情報を紹介し、幅広い知識や教養を身に付ける態度を養うことができるようにするとともに、我が国と郷土を愛する心を育むことができるようにしています。（第１号、第５号） ●傷害の防止について学ぶことを通して、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにしています。また、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことができるようにしています。（第３号、第４号）	p.106~107 p.108~133
体育編３章 文化としてのスポーツ	●学習内容に関連した情報を紹介し、幅広い知識や教養を身に付ける態度を養うことができるようにするとともに、我が国と郷土を愛する心を育むことができるようにしています。（第１号、第５号） ●文化としてのスポーツについて学ぶことを通して、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるようにしています。（第５号）	p.136~137 p.138~149
保健編５章 健康な生活と 病気の予防③	●学習内容に関連した情報を紹介し、幅広い知識や教養を身に付ける態度を養うことができるようにしています。（第１号） ●感染症の予防、健康を守る社会の取り組み、保健・医療機関の利用や医薬品の使用について学ぶことを通して、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにしています。（第３号）	p.150~151 p.152~167
保健編６章 健康と環境	●学習内容に関連した情報を紹介し、幅広い知識や教養を身に付ける態度を養うとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるようにしています。（第１号、第５号） ●健康と環境について学ぶことを通して、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことができるようにしています。（第４号）	p.168~169 p.170~187
保健体育の 学習の終わりに	●自他の敬愛と協力を重んずる態度や生命尊重、環境の保全の大切さにも気づくようにするとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるようにしています。（第２号、第３号、第４号、第５号）	p.188~189
巻末資料	●体の仕組みを知ることを通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことができるようにしています。（第１号）	巻末❶～❸

③ 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

ICT の活用「章デジ」

章デジ

※体育編１章の例示です。

・「**章デジ**」を設け、二次元コードからアクセスして、各章の内容に関連する**デジタルコンテンツを活用できる**ようにしました。生徒が**自ら教材を選び、組み合わせながら学ぶ力**がつきます。

学習の進め方（学習過程の工夫）

・学習内容や課題に応じて、**自らエ夫しながら保健体育の学習を進めることができる**ように、「さまざまな学習方法」を紹介しています。また、課題を設定し、解決していくことができるように、「課題学習の整理の仕方の例」も示しました。（p.9～11）

学習のまとめ、評価

・章末の「**章のまとめ**」で、習得した知識の確認や学習活動の振り返り、実生活へつなげる記述欄などを設けています。多様な評価や自己評価にも役立ちます。（p.25、41など）
・各時間の「**とりくメーター**」で、主体的に学習に取り組む態度を確認することができます。

探究活動の充実

・「課題学習の整理の仕方」を示し（p.11）、**探究的な学習を進めるための基礎づくり**ができるようにしています。
・各章の最後には「探究しようよ！」を設け、学習内容に沿った**探究的な課題を豊富に取り上げ、充実を図りました**。高校での「総合的な探究の時間」にもつながります。

学習の系統性（小中高の連携）

・章とびらでは、「小学校で学習したこと」、「高校で学習すること」を設け、**系統性のある学習ができる**ようにしました。

学びのユニバーサルデザイン

・特別支援教育の専門家の指導を踏まえ、内容やレイアウト、配色（カラー）などについて配慮し、**視認性を高め、学びやすさを高めるエ夫**をしました。
・**ユニバーサルデザイン（UD）フォント**を使用し、可読性を高めました。

多様性への配慮

・イラストについては、**登場する人物の男女の比率や役割、背景などに偏りがないよう配慮**しました。
・発育や発達には、**個人差があることを重視し、多様性に配慮**しました。

カリキュラム・マネジメント

・「キーワードで見る 保健体育の学習内容」（p.190～191）では、８つのキーワードを挙げて、体育分野、保健分野だけでなく、道徳などを含む他教科や体育実技などとより関連の深いものを取り上げ、**教科等横断的な学習の一助となるようエ夫**しました。
・体育分野、保健分野、他教科などの関連する学習内容へのガイドとして、「関連」を設け、**カリキュラム・マネジメントを効率的に行いやすいエ夫**をしました。

▼ p.190~191

▼ p.102~103

表記・表現、造本の工夫

・大きな判型（ＡＢ判）を採用し、詳しく豊富な内容と**視覚的にゆったりとした紙面**を両立しました。
・本文の記述に当たっては、**できるだけ平易に、理解しやすい表現**となるよう努めました。
・イラスト、写真の使用に当たっては、本文の記述との適切な関連はもとより、内容・掲載点数ともに**学習上の効果に十分配慮**しています。
・環境に配慮し、**環境に配慮して作成された用紙、植物油インキ**を使用しました。また、用紙は軽量化に努めました。
・３年間の長期使用に耐えられるように、製本は堅牢にしました。

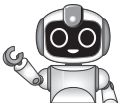
編　修　趣　意　書

（学習指導要領との対照表、配当授業時数表）

※受理番号	学　校	教　科	種　目	学　年
105 － 52	中学校	保健体育	保健体育	第１学年～第３学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※　教　科　書　名		
224 学研	保体 224 - 72	新・中学保健体育		

① 編修上特に意を用いた点や特色

1 生徒が主役の学びを生み出す構成



主体的・対話的で深い学びを実現できます！
課題解決の学習過程が身に付きます！

● 1 時間の主な流れに沿って進めていくことで、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための効果的な学習が展開できます。生徒**自ら学びを進めて課題を解決する学習過程が身に付きます。**

1 時間の主な流れ

課題解決へ

ウォームアップ（▶課題の発見）

【課題の発見や気づき】
自ら**課題を発見する力が養われる**とともに、**学習への関心・意欲を高める**ことができます。主体的に課題解決に取り組むスタートとなります。

学習の課題

この時間に身に付ける知識や技能、この時間に考えたり話し合ったりすることを確認し、**学習に見通しを持つ**ことができます。

本文 と **資料**

主体的・対話的で深い学びの実現のために必要となる基礎・基本的な知識・技能を習得できます。丁寧で正確な本文と豊富な資料を用意しています。

エクササイズ（▶課題の解決）

【学習した知識・技能や情報を基にした活動】
あらかじめ自分で考えた意見を交換したり、資料などで調べたりするなど、活動などを通して、協働的に課題解決を進めていきます。

学びを生かす（▶学びの活用）

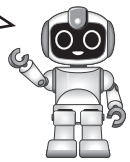
【実践的な課題解決】
これまでに**身に付けた知識・技能や情報と課題解決の過程などを基に取り組む**課題が最後にあります。思考・判断・表現を重視し、**深い学びと生活への実践につなぎます**。

MAX とりくメーター

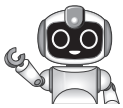
項目の最後に、「この１時間、**主体的に学習に取り組めたかどうか」を自己評価**し、記録できるようにしています。**メタ認知**に関わる力を育むことができます。

✓ 生徒自ら学びを工夫しながら進めていくことができます。

✓ 自ら課題を発見し、協働しながら課題を解決していく「学び方」が身に付きます。



2 新しい学びの姿が見える

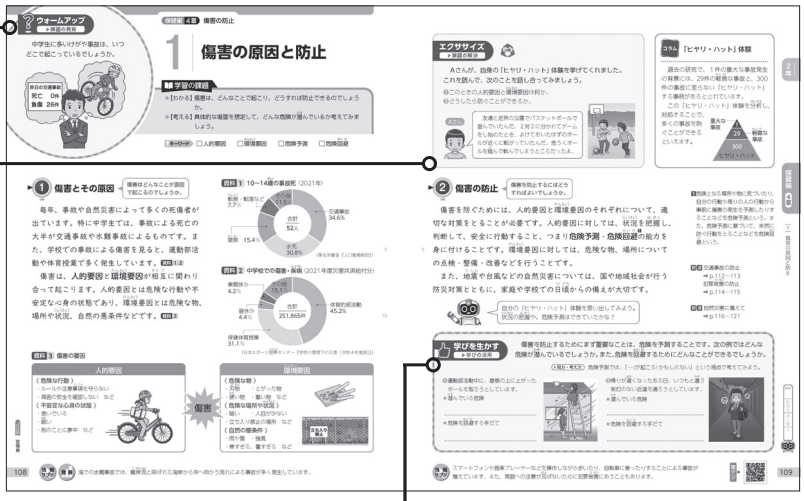


考えたり、話し合ったり、調べたり、教え合ったりしながら
どのように学んでいくか、イメージを持つことができます！

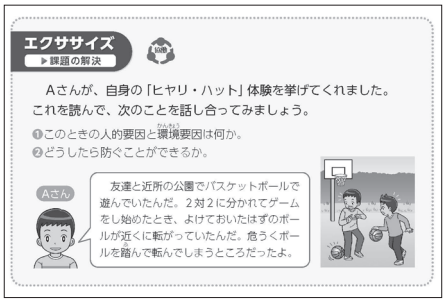
▼ p.108 ～ 109

1 ウォームアップ 課題の発見

冒頭の導入的な問いで、**短時間で学習の課題に気づく**ことができます。課題を発見する力がつきます。

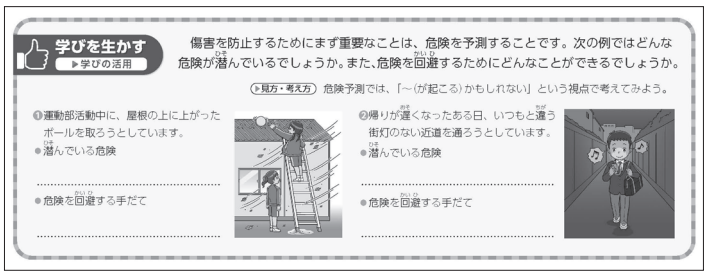


2 エクササイズ 課題の解決



対話的な活動などを通して、課題の解決を進めます。**課題解決へ向かうさまざまな方法**を経験し、**身に付ける**ことができます。

3 学びを生かす 学びの活用

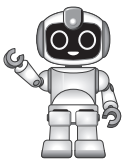


時間の最後に、**学んだことを基にして実践的な課題に取り組みます**。身の回りの状況や情報などを判断し、自他の生活へどう生かすかという、**保健体育ならではの学びを全ての時間で**行うことができます。

学びを進めるためのさまざまなヒントを提示

キャラクター

生徒と共に学習を進めていくパートナーとして登場します。随所に、問いを投げかけたり、要点についてまとめたりするなどして、学びを深める手助けをしてくれます。



▲ウィズ

見方・考え方

▶見方・考え方

各時間にある作業課題の随所に、「見方・考え方」を示しています。

保健体育の「見方・考え方」を身に付け、働かせられるようにしています。

章デジ

章デジ▶

二次元コードを読み取ってアクセスすることで、**各章に関係する、動画などのデジタルコンテンツ**を活用することができます。必要なものを自ら判断して組み合わせながら、より広く、深く学ぶことができます。（体育編１章の例示です）

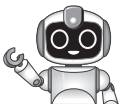
探究的な活動の充実

▼ p.130

探究

高校への接続も視野に入れ、**探究的な活動の充実**を図っています。

3 現代的な課題に対応する力が身に付く



現代的な課題や視点から学習できます！
学習内容と適切に関連させて、今日的な話題や健康課題について考えられます！

これからの時代に求められる視点

共生・多様性

・保健体育の学習と日々の生活との関係を、共生の視点を踏まえ、スポーツや健康・安全などさまざまな切り口で視覚化しています。（口絵p.４～５など）
・「性の多様性」について考えるための資料を掲載しています。（p.66）
・オリンピック・パラリンピックのレガシー（遺産）についても取り上げています。（p.148）

ウェルビーイング

・保健体育の学びが、ウェルビーイングの向上につながることを取り上げています。（p.12、151）
・共に健康に生きる社会のために、自分や周りの人々に対し何ができるかを問いかけています。（p.188～189）

私たちを取り巻く安全・健康課題

生命の安全・傷害の防止

・交通、防犯・防災について、危険を予測して回避することを重視し、学習を展開しています。（p.108～115）
・自然災害から身を守るための行動について、最新の知見に基づいた資料とともに、具体的に説明し、考えられるようにしています。（p.116～121）
・心肺蘇生法やAEDの使い方、きずの手当の実習を正確に行えるようにしています。（p.122～129）
・スポーツ活動の安全を重視しています。（p.78～79､82）

心の健康（いじめ） 心の健康、命を重視しています！

・ストレスへの対処の例に関連し、リラクセーションの方法（技能）のページを設けています。（p.64）
・「心と体のSOS」と題して、いじめについて考える問いを設けています。また、いじめなどの悩みを抱えたときの相談窓口も紹介しています。（p.65）

がんとその予防、感染症とその予防

・がんについての説明は、科学的な根拠に基づいた資料で構成しています。（p.90～91）
・感染症の広がりに関わる人権上の問題についても触れ、正しい理解を促します。（p.153）

基礎的な視点

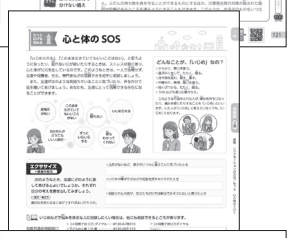
情報活用能力

・章とびら、および各項目に「章デジ」を設けています。二次元コードからアクセスすることで、章や各項目に関連したデジタルコンテンツを利用することができます。（「章デジ」は各章とびら、および項目ごとに掲載）
・情報機器を活用した学習の例を随所に掲載しています。

▼ p.4 ～ 5

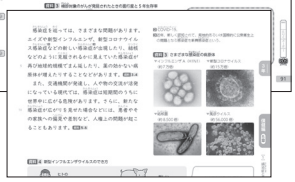
▶ p.12

▼ p.120 ～ 121



▶ p.65

▼ p.90 ～ 91



▶ p.153

キャリア教育

・学習内容に関連する職業を「JOB」として、各見開き脇に紹介しています。
・医療ソーシャルワーカーへのインタビューを掲載し、職業への理解を深めています。（p.103）

教科書の特色一覧	
教育基本法との関連	●教育基本法第２条に示された目標を達成するために、教科書の内容を適切に編成しています。
学習指導要領との関連	●**〔内容〕**学習指導要領に示されている方針、目標、内容、内容の取扱いに基づき、適切に内容を取り上げています。 ●**〔系統性〕**各章のとびらにおいて、小学校で学習したことと中学校で学習すること、さらに高校で学習することを見通すことができるようにし、小中高連携につなげやすくしています。また、随所に「関連」を設け、系統的に学習ができるように配慮しています。 ●**〔関連〕**「関連」では、体育分野と保健分野の関連、他教科との関連を示しています。関連 ●**〔指導内容の明確化〕**各章のとびらで、学習内容の全体像を示しています。また、各項目の初めに「学習の課題」「キーワード」を設け、その時間で学習し身に付けることと、重要語句を示しています。さらに、本文中では、重要な語句を太字で示しています。 ●**〔実践的な理解〕**「ウォームアップ」「エクササイズ」で生活や経験を振り返ったり、実習などの実践的な学習を随所に取り入れたりして、健康や安全などについての内容を実践的に理解することができるようにしています。 ●**〔課題解決〕**各項目で学習課題を明示し、「ウォームアップ（課題の発見）」→「エクササイズ（課題の解決）」→「学びを生かす（学びの活用）」の構成で、保健体育の「見方･考え方」を働かせ、課題解決に向けて考えたり話し合ったりしながら思考・判断するとともに、他者に伝える力（表現力）を養うことができるようにしています。 ●**〔主体的な学習、協働〕**教え合い、学び合う学習活動には、「協働」のマークを示し、主体的・対話的かつ協働的に活動する学習活動が生まれるようにしています。協働 ●**〔食育との関連〕**健康な生活と病気の予防では、健康と食事について言及し、食事の重要性が理解できるようにしています。 ●**〔道徳との関連〕**自分自身に関すること、人との関わりに関することなど、道徳の内容について学習全体を通して関連を図ることができるようにしています。 ●**〔体力向上との関連〕**思春期の発育・発達や生活習慣病との関連、体力の必要性（災害から身を守る力）などを取り上げ、体力やよい運動習慣の必要性に気づかせるとともに、新体力テストを活用した体力の高め方についても示しています。 ●**〔言語活動〕**話し合う、表現するなどの言語活動を随所に設けています。 ●**〔キャリア教育〕**口絵で、健康、環境、安全・防災、運動・スポーツの分野に関連する職業を取り上げたり、見開きの内容に関係する職業を「ＪＯＢ」として取り上げたりするなどして、キャリアについて考えることができるようにしています。
創意・工夫	●**体育編ならびに保健編の内容をそれぞれ学年別にまとめ**、学習内容が明確になるようにしています。また、各学年末には**まとめのページ**を設け、学習を振り返ることができるようにしています。 ●巻頭に「さまざまな学習方法」を設け、学習内容や課題に応じて、**工夫しながら学習が進められる**ように、事例とともに学習方法を紹介しています。また、**課題学習の整理の仕方**を掲載し、自ら学習を進められるようにしています。 ●章のとびら、ならびに各項目に二次元コードを配置し、**関連するデジタルコンテンツ（動画やワークシートなど）を活用**できるようにしています。より広く、深く学習を進めるために役立ちます。 ●**学習のパートナーである「ウィズ（With)」**が、問いを投げかけたり、要点をまとめたりするなど、語りかける形式によって随所に登場します。学習を広げたり、深めたりする手助けをしてくれます。 ●呼吸法や応急手当などの身に付けるべき技能は、生徒の発達段階を考慮するとともに、**イラストや写真を多く掲載**し、わかりやすく取り組みやすい内容としています。 ●章末に設定した研究課題（「探究しようよ！」）で、課題の例や学習の仕方を示すことなどによって、**課題解決的な学習**が展開されるようにしています。探究的な活動は、高校への接続にもなります。 ●各項目の最後にある**「とりくメーター」での取り組み度合いの確認**や章末の自己評価欄（「章のまとめ」）によって、**生徒の内容理解に対する自己評価**を助けるとともに、反復的・継続的な学習を行ったり、学習したことを日常生活に活用するための意欲を持ったりできるようにしています。 ●「キーワードで見る保健体育の学習内容」を設け、学習内容の振り返りとして活用できるようにするとともに、多面的・多角的に学習内容を捉えられるようにしています。また、**カリキュラム・マネジメント**に生かせます。
現代的な課題への対応	●**ＩＣＴ機器の効果的な活用**を促進し、デジタルコンテンツを活用できるように**「章デジ」**を設けています。 ●発育・発達の学習に関連し、ＬＧＢＴＱ＋やＳＯＧＩなど、**多様な性**についても取り上げています。 ●「保健体育の学習の終わりに」をはじめ、**共生社会の実現やウェルビーイングの実現**に向けて考える内容を取り扱っています。 ●自然災害や二次災害における**安全確保の内容を充実**させ、過去の大きな災害から学ぶ教訓の形で展開しています。また、日頃の備えとともに、自然災害発生時には、**正確な情報を得ることが重要**であることを学べるようにしています。 ●ＳＮＳを例に**情報モラル**への対応について考えられるようにしています。
配列・分量 程度・資料	●学習指導要領で示された内容を基に、**学年別で構成**しています。 ●１単位時間見開き２ページを基本構成とし、**見通しを持って学習**できるように配慮しています。 ●**資料は最新で信頼性のある適切なもの**を取り上げ、見やすく、活用しやすいように工夫しています。
ユニバーサルデザインへの配慮	●書体は、**ユニバーサルデザイン（UD）フォントを使用**しています。 ●配色、表現・レイアウトについて、誰もが見やすく、わかりやすい内容となるように配慮しています。 ●「障害のある児童及び生徒のための教科用図書等の普及の促進等に関する法律（通称：教科書バリアフリー法）」の趣旨に基づいて、拡大教科書を発行します。 ●学校教育法等の改正に沿い、学習者用デジタル教科書を発行します。
表記・表現 印刷・製本	●本文などで使用している書体や文字の大きさは、生徒の発達段階を考慮して選定しています。 ●環境に配慮して作成された用紙、植物油インキを使用し、環境への負荷が小さい方式で印刷しています。 ●製本はあじろ綴じで、特殊加工を施しており、３年間の使用に耐えられるように堅牢に仕上げています。

② 対照表

図書の構成・内容			学習指導要領の内容		該当箇所	配当時数	
第1学年	体育編	1章　スポーツの多様性	体育分野 2－H 第1学年及び第2学年	内容の取扱い（2）ク	p.14～25	小計3時間	体育 計3時間
		1　スポーツの始まりと発展		(1) ア (ア)、イ、ウ	p.16～17	1	
		2　スポーツへの多様な関わり方		(1) ア (イ)、イ、ウ	p.18～19	1	
		3　スポーツの多様な楽しみ方		(1) ア (ウ)、イ、ウ	p.20～21	1	
	保健編	1章　健康な生活と病気の予防①	保健分野2	内容の取扱い (1)～(3)、(11)	p.26～41	小計5時間	保健 計16時間 保健で1時間の課題学習を想定している。
		1　健康の成り立ち		(1) ア (ア)、イ	p.28～29	1	
		2　運動と健康		(1) ア (ア)、イ、内容の取扱い (3)	p.30～31	1	
		3　食生活と健康		(1) ア (イ)、イ、内容の取扱い (3)	p.32～33	1	
		4　休養・睡眠と健康		(1) ア (イ)、イ、内容の取扱い (3)	p.34～35	1	
		5　調和のとれた生活		(1) ア (イ)、イ、内容の取扱い (3)	p.36～37	1	
		2章　心身の発達と心の健康		内容の取扱い (1)、(6)~(8)、(11)	p.42～69	小計10時間	
		1　体の発育・発達		(2) ア (ア)、イ、内容の取扱い (6)	p.44～45	1	
		2　呼吸器・循環器の発達		(2) ア (ア)、イ、内容の取扱い (6)	p.46～47	1	
		3　生殖機能の成熟		(2) ア (イ)、イ、内容の取扱い (7)	p.48～51	2	
		4　性とどう向き合うか		(2) ア (イ)、イ、内容の取扱い (7)	p.52～53	1	
		5　心の発達（1）知的機能と情意機能の発達		(2) ア (ウ)、イ	p.54～55	1	
		6　心の発達（2）社会性の発達		(2) ア (ウ)、イ	p.56～57	1	
		7　自己形成		(2) ア (ウ)、イ	p.58～59	1	
		8　欲求不満やストレスへの対処（実習を含む）		(2) ア (エ)、イ、内容の取扱い (8)	p.60～64	2	
第2学年	体育編	2章　スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	体育分野 2－H 第1学年及び第2学年	内容の取扱い（2）ク	p.72～83	小計3時間	体育 計3時間
		1　スポーツが心身と社会性に及ぼす効果		(2) ア (ア)、イ、ウ	p.74～75	1	
		2　スポーツの学び方		(2) ア (イ)、イ、ウ	p.76～77	1	
		3　スポーツの安全な行い方		(2) ア (ウ)、イ、ウ	p.78～79	1	
	保健編	3章　健康な生活と病気の予防②	保健分野2	内容の取扱い (1)～(4)、(11)	p.84～105	小計7時間	保健 計16時間 保健で1時間の課題学習を想定している。
		1　生活習慣病とその予防		(1) ア (ウ)、イ、内容の取扱い (3)	p.86～89	2	
		2　がんとその予防		(1) ア (ウ)、イ、内容の取扱い (3)	p.90～91	1	
		3　喫煙と健康		(1) ア (エ)、イ、内容の取扱い (4)	p.92～93	1	
		4　飲酒と健康		(1) ア (エ)、イ、内容の取扱い (4)	p.94～95	1	
		5　薬物乱用と健康		(1) ア (エ)、イ、内容の取扱い (4)	p.96～97	1	
		6　喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ		(1) ア (エ)、イ、内容の取扱い (4)	p.98～99	1	
		4章　傷害の防止		内容の取扱い (1)、(9)、(11)	p.106～133	小計8時間	
		1　傷害の原因と防止		(3) ア (ア)、イ	p.108～109	1	
		2　交通事故の現状と原因		(3) ア (イ)、イ	p.110～111	1	
		3　交通事故の防止		(3) ア (イ)、イ	p.112～113	1	
		4　犯罪被害の防止		(3) ア (イ)、イ	p.114～115	1	
		5　自然災害に備えて		(3) ア (ウ)、イ	p.116～117	1	
		6　応急手当の意義と基本（実習を含む）		(3) ア (エ)、イ、内容の取扱い (9)	p.122～129	3	
第3学年	体育編	3章　文化としてのスポーツ	体育分野 2－H 第3学年		p.136～149	小計3時間	体育 計3時間
		1　スポーツの文化的意義		(1) ア (ア)、イ、ウ	p.138～139	1	
		2　国際的なスポーツ大会とその役割		(1) ア (イ)、イ、ウ	p.140～141	1	
		3　人々を結び付けるスポーツ		(1) ア (ウ)、イ、ウ	p.142～143	1	
	保健編	5章　健康な生活と病気の予防③	保健分野2	内容の取扱い (1)~(2)、(5)、(11)	p.150～167	小計6時間	保健 計16時間 保健で3時間の課題学習を想定している。
		1　感染症とその予防		(1) ア (オ)、イ、内容の取扱い (5)	p.152～155	2	
		2　性感染症とその予防／エイズ		(1) ア (オ)、イ、内容の取扱い (5)	p.156～159	2	
		3　健康を守る社会の取り組み		(1) ア (カ)、イ	p.160～161	1	
		4　医療機関の利用と医薬品の使用		(1) ア (カ)、イ	p.162～163	1	
		6章　健康と環境		内容の取扱い (1)、(10)、(11)	p.168～187	小計7時間	
		1　環境の変化と適応能力		(4) ア (ア)、イ	p.170～171	1	
		2　活動に適した環境		(4) ア (ア)、イ	p.172～173	1	
		3　室内の空気の条件		(4) ア (イ)、イ	p.174～175	1	
		4　水の役割と飲料水の確保		(4) ア (イ)、イ	p.176～177	1	
		5　生活排水の処理		(4) ア (ウ)、イ	p.178～179	1	
		6　ごみの処理		(4) ア (ウ)、イ	p.180～181	1	
		7　環境の汚染と保全		(4) ア (ウ)、イ	p.182～183	1	

体育編　計　9時間
保健編　計48時間

編　修　趣　意　書

（発展的な学習内容の記述）

※受理番号	学　校	教　科	種　目	学　年
105 － 52	中学校	保健体育	保健体育	第１学年～第３学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※　教　科　書　名		
224 学研	保体 224 - 72	新・中学保健体育		

ページ	記　　述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
28	脚注 臓器提供について	1	保健分野 （1）健康な生活と疾病の予防 ア（ア）健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。また、疾病は、主体の要因と環境の要因が関わり合って発生すること。	0.25
38	アレルギー	1	保健分野 （1）健康な生活と疾病の予防 ア（ア）健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。また、疾病は、主体の要因と環境の要因が関わり合って発生すること。	1.0
39	脳死と臓器移植	1	保健分野 （1）健康な生活と疾病の予防 ア（ア）健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。また、疾病は、主体の要因と環境の要因が関わり合って発生すること。	0.5
66	性の多様性	2	保健分野 （2）心身の機能の発達と心の健康 ア（イ）思春期には、内分泌の働きによって生殖に関わる機能が成熟すること。また、成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要となること。	0.5
102	がんの治療	1	保健分野 （1）健康な生活と疾病の予防 ア（ウ）生活習慣病などは、運動不足、食事の量や質の偏り、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れが主な要因となって起こること。また、生活習慣病などの多くは、適切な運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践することによって予防できること。	1.0
103	がんと共に生きる、 がん患者と共に生きる	2	保健分野 （1）健康な生活と疾病の予防 ア（ウ）生活習慣病などは、運動不足、食事の量や質の偏り、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れが主な要因となって起こること。また、生活習慣病などの多くは、適切な運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践することによって予防できること。	0.5
104	ドーピング	1	保健分野 （1）健康な生活と疾病の予防 ア（エ）喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因となること。また、これらの行為には、個人の心理状態や人間関係、社会環境が影響することから、それぞれの要因に適切に対処する必要があること。	0.75
104	やめたくてもやめられない（行動嗜癖）	1	保健分野 （1）健康な生活と疾病の予防 ア（エ）喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因となること。また、これらの行為には、個人の心理状態や人間関係、社会環境が影響することから、それぞれの要因に適切に対処する必要があること。	0.5

ページ	記　　述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
108	脚注 離岸流について	2	保健分野 （3）傷害の防止 ア（ア）交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因や環境要因などが関わって発生すること。	0.25
121	災害に備える「タイムライン」を作ってみよう	2	保健分野 （3）傷害の防止 ア（ウ）自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じること。また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できること。	0.75
127	熱中症を疑ったときの対応	1	保健分野 （3）傷害の防止 ア（エ）応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができること。また、心肺蘇生法などを行うこと。	0.5
130	インターネットや SNS を通じた犯罪	2	保健分野 （3）傷害の防止 ア（イ）交通事故などによる傷害の多くは、安全な行動、環境の改善によって防止できること。	0.5
131	津波	1	保健分野 （3）傷害の防止 ア（ウ）自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じること。また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できること。	0.5
131	急な大雨や雷・竜巻から身を守るために	2	保健分野 （3）傷害の防止 ア（ウ）自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じること。また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できること。	0.75
165	動物由来感染症	2	保健分野 （1）健康な生活と疾病の予防 ア（オ）感染症は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できること。	0.75
165	ユニバーサルデザイン	2	保健分野 （1）健康な生活と疾病の予防 ア（カ）健康の保持増進や疾病の予防のためには、個人や社会の取組が重要であり、保健・医療機関を有効に利用することが必要であること。また、医薬品は、正しく使用すること。	0.5
184	放射線と健康	1	保健分野 （4）健康と環境 ア（ウ）人間の生活によって生じた廃棄物は、環境の保全に十分配慮し、環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があること。	1.0
185	環境問題と私たちの生活や健康	2	保健分野 （4）健康と環境 ア（ウ）人間の生活によって生じた廃棄物は、環境の保全に十分配慮し、環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があること。	1.0
			合計	11.5

（「類型」の分類について）

1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容

2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容